

審議会等の会議結果報告書

【担当課】 水道課

会 議 の 名 称	令和6年度第1回茅野市上水道運営審議会		
開 催 日 時	令和6年11月28日（木） 10時00分～10時40分		
開 催 場 所	市役所 議会棟3階全員協議会室		
出 席 者	※出席委員：牛山会長、宮下副会長、大久保委員、岡森委員、北澤委員、北原委員、木村委員、高松委員、百瀬委員、両角(新)委員、両角(英)委員、矢崎委員、矢嶋委員 ※市側出席者：今井市長、黒澤都市建設部長、宮下水道課長、佐々木庶務経営係長、藤澤営業係長、宮下上水道整備係長、藤森給水維持係長、土橋庶務経営係主査		
欠 席 者	大作委員、荻原委員、工藤委員、宮坂委員、		
公開・非公開の別	公開・非公開	傍 聴 者 の 数	0人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容（概要）		
黒澤部長	○議事 1 開 会 2 委 嘱 3 市長あいさつ 自己紹介 4 報告事項 （1）令和5年度茅野市水道事業経営状況について 5 その他 6 閉 会 ○議事録 1 開 会 ただいまから、令和6年度第1回茅野市上水道運営審議会を開催します。 2 委 嘱 ・・・委嘱書交付・・・ 3 市長あいさつ おはようございます。大変お忙しい中、皆様方、上水道運営審議会にお集まりをいただきまして誠にありがとうございます。また、日頃から市政にご理解ご協力をいただいておりますことに感謝を申し上げます。 さて、茅野市の上水道の状況でありますけれども、茅野市に限ったことではありませんが、今全国の地方自治体は、昔布設した水道がどんどんどんどん古くなっていて、これを新しく更新をしていかなければいけない。それから最近地震があちこちで、特に今年は能登半島の方でも大きな地震がありましたが、そうしたこともあって、耐震化も進めていかなければいけないということが大きな課題になっているわけでありまして。 そうしたことを茅野市も、説明とか確実にやってきてはいるのですが、		
市長			
市長			

なんせ面積が広いものですから、一気になかなか進まないというような状況ではございます。ただ、確実に進めておりますので、今日はその運営状況、経営状況等ご報告をさせていただきますけれども、そうした状況が良い中で、しっかりと進めていかなければいけない。そんなふうに思っているところでございます。

茅野市の行財政改革では皆様ご心配ごとが多いかと思っておりますけれども、上水の方ではですね、健全にやっておりますので、ご安心いただきたいと思います。行政の方もご心配いただいておりますが、若干お話をさせていただきますと、税収の方はしっかりと上がってきております。ただそれ以上に使っちゃったものですから、そこをですね、もう少しきちんと整理していけば、茅野市の場合には若い人たちも集まってきてくれておりますし、企業さんも進出してきてくれておりますので、未来は決して暗いものではなくて、私は明るいというふうに思っています。ただ、その辺のお金の使い方というのをやはりもう少しきちっと整理整頓していくということが今必要で、それで皆様方に色々ご心配をかけておりますけれども、まあ、できるだけなんとか急激な変化というのもまずいでしょうから、ある程度時間をかけながら収縮できれば収支均衡予算というところに持っていければ、こんな風に思っているところでございます。今、どうしても水道と同じようにいろんな施設を建て直さなければいけなかったり、直さないといけなかったりするのが目白押しになっているものですから、どうしてもですね、お金のやりくりが大変になってきておりますが、そこを乗り越えれば問題なく進むというふうに思っておりますし、そのためにはある程度役割を終えたものはやめにするとか、複合施設にしていくとか、あるいはもっとこれが必要だから、もっと違う新しく建て替えてやっていこうということ、その仕訳を今しているわけです。優先改革事項、新聞にいっぱい載ったものがありますけれども、あれはやめるという事で議論しているわけではなくて、これをちゃんと一つ一つ検証しているという作業が今の段階でありますので、ちょっとその辺がですね、うまく伝わっていないのかなというふうに思っておりますけれども、しっかりと見直しをかけて、ソフト事業全部そうですし、ハードのものだけではなくて、いろんな補助事業ですとか、そういうものも全部見直しをして、それから組み直しをする。ただ、その中で優先的に見直しをしていくものが新聞等に掲載されたものでありまして、全部なくさなければいけないと思ってやっているわけではありませぬので、そこだけご理解いただき、ただその中でどうしてもやめなければいけないもの、一緒にしていかなければいけないもの、色々出てくるとは思いますが、そういうところは皆さんにご理解いただかなくてはならないと思っておりますけれども、まあそんな作業をしているということでもあります。いずれにしても、先ほど申し上げました、上水の方は非常に健全な状態だと理解しておりますので、この後しっかりとその辺の事業報告、決算報告をさせていただいて、皆様方からご意見をいただいて確実に事業を進めて行きたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。ご挨拶にかえさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

佐々木係長

市長はこの後会議があるため、ここで退席をさせていただきます。

(市長退席)

	続きまして、会議に入る前に水道課職員に人事異動がありましたので、自己紹介をさせていただきます。 (黒沢都市建設部長、佐々木庶務経営係長、土橋主査から自己紹介)
佐々木係長	それでは、この後の進行は牛山会長さんに進めていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。
牛山会長	それでは審議を始める前に本日の審議会の公開、または非公開についてを皆様にお諮りいたします。本日の案件については、非公開とするものに該当しないということで、この審議会を公開としてよろしいでしょうか。
委員	はい。
牛山会長	ありがとうございます。それでは本日の会議を公開といたします。事務局は傍聴者がいましたら入室をお願いいたします。
事務局	いません。
牛山会長	4 報告事項 それでは次第の4報告事項の「令和5年度茅野市水道事業経営状況について」をお願いします。 水道課長をお願いします。
宮下課長	(資料1に基づき、令和5年度茅野市水道事業経営状況について、概況・工事・業務・決算の推移等について説明)
牛山会長	はい、どうもありがとうございました。この報告について何かご質問等ありますか。先ほど市長さんの話にもありましたけども、概ね経営はうまくいっているようには感じましたけど、質問がありましたらお願いします。 ないようなら、私からよろしいでしょうか。 職員に関する事項ですけれども。技術職員が減っているが、これについてお願いします。
宮下課長	確かに昨年に比べて技術職員が減っていますが、去年は事務職員を2人、技術職に入れてしまっていて全体の人数としてみれば変わってはいません。事務職の人でも緊急修理だとか、現場に対応してもらっている関係で去年は技術職員でカウントしてしまいました。なので、全体的には水道の人数は変わってはいません。
牛山会長	2人減と書いてあるが。
佐々木係長	(5)の職員に関する事項に合計で2人減っていますよと書いてあるが。 まず、事務職員の関係ですが、5年3月から6年3月で1人増になっていまして、技術職員が2人減で会計年度職員が1人減になっていますが、技術職員については今課長から説明ありました通り、ここの事務職員技術職員というのがどういう仕事をしているかというのもあるのかもしれないですけど、技術職員として採用されたか、事務職員として採用されたかというところで、本来入れるべきところですが、この5年3月の時には事務職員の採用枠職員で実際の現場とかでの緊急対応とかそういったことをやっている職員2名を、本来事務職員に入れるところを技術職員に入れてしまっていて、今7名になっていて、それを事務職員の方に移したので、6年3月は5名になっております。 そうすると、事務職員が10人から12人になるべきところですがけれども、水道課の中で水道の業務と下水の業務をやっております、下水の業務の方で

	本来カウントすべき人を5年3月の時に1人事務職員を水道の方に入れてしまったところを振りかえた関係で、事務職員が12人になるところが11人になって1名減というような形になっております。あと、会計年度任用職員については7人から6人で1人減っておりますけれども、育休の代替え分で、全体でみると変わらないというところで体制が縮小されたとか、そういうことではないということで、そのご理解いただきたいと思います。
牛山会長	去年と変わらないということでよろしいですね。
大久保委員	他に何か質問はありますか。
牛山会長	7ページですけれども、岡谷市、諏訪市、茅野市と見た場合、水道料の1立方あたりの単価というのはどんな具合なんですか。
佐々木係長	事務局お願いします。
	令和6年10月に諏訪市さんが料金改定をしましたが、その料金改定前ですと諏訪市さんが一番安くて、その次が茅野市、岡谷市ということで、茅野市と岡谷市はそんなに変わらないぐらいの水準でした。
	ただ、水道料金の料金体系は市町村ごとに違いがありまして、例えば基本料金で10立米まで使えるとか、あと基本料金は基本料金でその後1立米使うごとに料金がかかるとか、あと何立米以上使う量が増えると単価も上がるのですが、そのこの分けも例えば50立米以上になったら上がるっていうところもあれば、30立米以上になったら上がるっていうところもあり、料金の体系が若干違うものですから、一概に比較っていうのが難しいです。
	一般家庭で月20立米使用したっていうところで見ますと、10月の諏訪市さんの料金改定後でも諏訪市さんが一番安くて次が茅野市で、その次は岡谷市さんというような順番になっております。
牛山会長	ありがとうございます。大久保さんよろしいですか。
大久保委員	この水道料金とそれから茅野市は全体的に土地が広いというようなことで、それと工事の関係とかというのは全然ないものなのですか。
宮下課長	水道料金に関しましては、やはりその工事費、先ほど市長さんもおっしゃったように老朽化している管とか配水池もそうですけれども、やはり増えてきております。その工事費等を支出するためには、その料金の回収で工事等を行っておりますので、料金には関係しております。
牛山会長	ありがとうございます。他に質問ありますか。
北澤委員	不納欠損の状況というのは5年前の計ということでよろしいでしょうか。
宮下課長	これは令和5年度分の欠損となります。
北澤委員	その下の未収金の状況というのは、1年間の分ということなのですか。
宮下課長	はいそうです。
北澤委員	1年間で1億6千万、まだ10%ぐらい取れていないというような状況ですか。
宮下課長	そうですね。先ほど言ったように、一般会計とは違って出納閉鎖期間が水道にはないので、3月分の水道料金を4月に口座振替とかでもらいますが、3月31日で切ってしまうものですから、どうしてもその金額が大きいということです。
北澤委員	それで残ってしまうのですよね。会議のためこういった資料になっているってことですね。はいわかりました。
牛山会長	不納欠損をした対象年度は、内容によって違うとは思いますが。

藤澤係長	不納欠損の対象年度についてのご質問ですが、まずこの上水道につきましては、基本的には時効というのが一旦はありますが、基本的には本人から時効の援用の申し出がない限り、取り続けていいというか、私どもの努力によって払っていただけるものは払っていただくということができる債権になっております。ただ法人が払うつもりでいたが破産しましたよ、とかというようなことが起きて払えなかった期間だけが残ってしまうので、人によって何年間残っているかというのが実は違います。で、今回対象になった方がちょうど平成 26 年から令和 5 年までの債権が残っているというようなことで毎年この数字については変わってくるものでございます。
牛山会長	ありがとうございました。よろしいですか。
北澤委員	はい
矢嶋委員	昨年も同じような質問をしているのですが、先ほどの話にもあった老朽管の更新ということで、これについてはこの B/S 上で言うと建設改良積立金が該当してくるのか、昨年全体が 716 キロで約 80 キロくらいがまだ対応できていないというようなお話を聞いているが、ちょっとその辺とからめて、実際にこの B/S 上の蓄えが十分なのか。企業の会計と全く違うので、数字をいっぱい並べていただいているのですが、あまりよく読み取れないので、その辺はどうなのでしょう。
牛山会長	事務局お願いします。
佐々木係長	11 ページのところの貸借対照表のどういうところで積立がされているかということかと思えますけれども、その建設改良積立金というのは将来の耐震化ですとかの更新とか、将来の投資に向けての積立になります。ここには表れていませんが、流動資産の中の現金というものの、明確にその将来の投資のためということになっているわけではないのですが、この現金についても将来の投資に使うことができる部分になってきます。今回お配りした資料の中ですと現金の金額というのは出ていないのですが、決算上、現金預金が約 32 億あります。そちらの中全てではないのですが投資の方に使っていくことができる部分になってきます。
牛山会長	はい、ありがとうございました。よろしいでしょうか。
矢嶋委員	わかったような、わからないようなですけども、要するに耐用年数が過ぎたものの補修及び今後の耐震化というところに対して、備えがこれで十分なのか、あるいはこれでは不足しているのかということになるかと思うんですよね。まあ、もちろん借入も出きるのでしょうけれど、その現金の 32 億と、その建設改良積立金はだいぶ減っているようですけど。そここのところは多分単年度というよりも長期の期間になるので大丈夫だと言われればそういうことなのですが、いかがですか。
牛山会長	事務局お願いします。
佐々木係長	ご指摘いただきました通り、今の現金と、積立金だけで今後の改修全てができるわけではないです。借り入れをして工事をして、それを将来の使用料収入で返済をしていくということも当然できますので、手元の資金と借入金等を活用しながら必要な更新等をやっていくというところ、今のところ将来にわたってずっと安泰とは言い切れないのですが、物価高等とかで損益計算書上の純利益もだんだん減ってきてはしているのでだんだん厳しくはなっていますが、今のところその将来更新等に向けての資金というのは、当面の分は必要な工事を行っていくことはできるという状況にあります。

牛山会長	はい、ありがとうございました。耐震化とかは将来に向けて計画的にやっていただきたいです。そういうことでよろしいですか。
矢嶋委員	もう少し詳しいことが知りたければ、直接聞いてください。
牛山会長	今、ここでね 10 分ほどの説明を聞いて、すぐわかる話でもないので、ありがとうございました。
牛山会長	他に何か質問はありますか。概ね経営とかは市長もいっていたとおり理解したいと思いますが、なければ本審議会として報告事項を確認したということではよろしいでしょうか。
委員	はい
牛山会長	はい、ありがとうございました。
牛山会長	5 その他
牛山会長	それでは次第の 5 その他であります、事務局から何かあればお願いします。
宮下課長	それではお願いいたします。委員会の任期ですが、来年令和 7 年 5 月 31 日までとなっています。今のところそれまでの間、会議の予定はないので今回最終ということになります。またそれまでの間に何かありましたらお願いしたいと思います。あとこの上水道運営審議会の今後についてなんですけれども、上水道につきましては、料金改定や、その事業の運営について審議する会としてこの審議会がありますが、下水道についてはこのような審議会がありません。そういった中で決定事項ではないんですけれども、当審議会を改め上水道と下水道の両事業について審議する上下水道運営審議会にしていきたいと考えております。その場合ですけれども、審議する内容も変わってくることから構成も変わるかと思われしますので、またその際にはご協力をお願いしたいと思います。以上になります。
牛山会長	はい、ありがとうございます。今のことについて何か質問等ありましたらお願いします。これははっきり決まっているという事じゃないよね。方針でいくということによいでしょうか。
宮下課長	はいそうです。
牛山会長	まあ、是非そういうふうにしてもらいたいと思います。
宮下副会長	その他委員の皆様から、何かございますでしょうか。
宮下課長	昨年あたりからだいぶ騒いでいる P F O S というのは茅野市ではどういう風なお考えを持ってらっしゃいますか。
宮下課長	P F O S、P F O A と言って今新聞でも結構取り上げられていますが、有機フッ素化合物の略というかになります。
	環境中では分解されにくい物質になりまして、水道法で定められている水質検査は定期的にやっていますが、このやっているのが、一般細菌、大腸菌等の検査約 50 項目をしています。ただ、この P F O S、P F O A の検査につきましては、国から義務付けられていませんが、全国的にもいろいろ騒がれておりますので、茅野市としまして今年度その P F O S、P F O A の検査を行いました。
	茅野市は今のところは P F O S、P F O A の物質は検出されませんでしたので、ご報告したいと思いますが、ホームページにここで載せるようにいたしますので、またご覧いただきたいと思います。以上です。
牛山会長	はい、ありがとうございました。
宮下副会長	そうするとその検査をしていただいているということで、もっと早く報告し

宮下課長

てもらいたかったですよね。

こんなに色々騒ぐ前に。というのは、主婦としては地下水で作っている豆腐だとかいろいろあるじゃないですか。ああいうのがなんとなく食べにくいっていう感じを受けちゃうんですよね。みんなに早くわかるように、茅野市は安全ですっていうようなことをどんどん書いてもらいたかったですよね。

おっしゃる通りではあるのですが、水道法で義務付けられてなかったものですから、急ぎでできなかったのですが、ただそのPFOS、PFOAというのは半導体メッキとか消化剤等によく含まれるのですが、茅野市の中では大きな工場がなかったりしたものですから、まだ大丈夫ではないかという事で様子を見ながら今まで来てしまいましたが、今年度は検査をするようにいたしました。以上になります。

宮下副会長

はい。

牛山会長

他に何かありますか。

矢嶋委員

ご存知の方はあまりないとは思いますが、北大塩地区の上部に大きな砂防施設を作ることになっております。その影響が茅野市の水源でもある、大清水水源の近い位置にあって、今、水質・水量調査を始めているところだと思います。茅野市の水源の中で非常に大きな割合を占めていますので、工事は来年からと聞いていますけれど、7年くらいかけてということなので、水道課の方も関わっていると思うので、ぜひ注意をしながら見ていただきたい。多分影響はないだろうとは思ってはいるのですが、もしもって事になると非常に大きな影響だと思いますので、水道のこの会議とはちょっと違いますが、水道委員の皆さんも承知していただければと思います。

牛山会長

事務局で何かありましたらお願いします。

宮下課長

来年度行うこの工事ですが、県工事で遊砂池工というもので、土石流とかあった場合止めるような施設ですが、県の方と水道課も連絡を密にしながら、その水量等の関係については協議をしながら進めていきたいと考えております。県の方からも一応水源が近いので心配はしているって事は聞いております。

牛山会長

よろしいですか。

矢嶋委員

情報はなるべくだしてもらいたいと思いますので、お願いします。

よろしいでしょうか。

今の話に似たような話ですが、湯川にディスコという大きな会社が入居すると言う話が出ているわけですが、その立てる場所が同じように水源地なんですよね。その部分のかねあいについてはどういうふうに進んでいるのか。私は土地を持っていないので詳しい情報が入ってこないの、市ではどのような対応をしているのか、教えていただきたい。

牛山会長

事務局お願いします。

宮下課長

湯川にディスコという大きな会社が来る予定ではあります。言われたように建設予定地のところには水源がありますので商工課でいろいろ打ち合わせをしている中で、水源は水の出てくるところなので、その上流、おそらく山の方から浸透して出てくると考えられます。なので、水道としてみれば、その水源は大事な水源になりますので、ここで水脈等の地質調査を行うようにいたします。その調査をして、ディスコの方と協議をしながら進めていく、今状況にあります。これから委託をかけて地質調査、水源調査等をしていく予定です。以上です。

牛山会長 矢崎委員 宮下課長	はい、ありがとうございます。よろしいですか。 問題になるようだったらば。 そうですね。その予定地についてはその水源よりもちょっとずらして建ててもらうとか、その結果次第ですけれども、そんなようなことはまた検討していかなければいけないかと思います。
牛山会長	よろしいですかね。じゃあ他にありましたらお願いします。 それでは慎重な審議ありがとうございました。以上をもちまして、議事を終了いたします。議事の進行にご協力どうもありがとうございました。2年間のご協力に対しても、改めてお礼を申し上げます。どうもありがとうございました。
黒澤部長	最後に、都市建設部長さんから一言あるようですので、お願いいたします。 先ほど課長から説明があった通り、この水道の関係の審議会を、下水道の関係もこれから料金の関係だとかいろいろ運営の関係がありまして、先ほど説明したとおり、上下水道を一緒にした審議会を改めて来年度から進めていければ、ありがたいかなということを今提案させてもらっています。細かいことが今ここで言えなくて申し訳ありませんが、そんな形を持ちまして、本日ここにいる今の運営審議会の皆様につきましては、本当に2年間という期間をお願いしまして、この水道事業につきましてご尽力いただいたことを、私から改めまして、皆様のこのご苦勞に感謝を申し上げたいと思います。本当に2年間ありがとうございました。まだどういう形になるかわかりませんが、皆様方の今まで培っていただきました、水道行政へのご支援、ご鞭撻はこのまま引き継いでお願いできればということで、私の方からお願いを申し上げ、また2年間のお礼にかえさせていただければと思いますので、本当に2年間どうもありがとうございました。お疲れ様でした。
牛山会長 宮下副会長	最後に閉会の挨拶を副会長にお願いいたします。 これで第1回審議会を終わりにさせていただきますけれども、体制が変わりますけれども、皆さんとお会いできるのかできないのかというようなこともあります、事実上今日が最後ということのようですし、それから美味しい水の茅野市ということで売ってきた経過がありますので、ぜひ水道の皆さんにはこれからもご尽力いただきたいと思います。 以上をもちまして。上水道運営審議会を閉会とさせていただきます。お疲れ様でございました。

※会議資料等についてのお問合せは、水道課庶務経営係までお願いします。